

年 組 名前：



有価資源物や粗大ごみを収集

笛吹市石和町川中島区は、  
40年代に釣り堀が整備され、  
区長によると、広場には昭和  
の広場の一角に整備。内田修  
水くみ場は約990平方メートル

峡東  
土屋真佑子  
鈴木なつ美

# 災害時の生活用水確保

する環境広場に、災害時に活用できる生活用水の水くみ場を整備した。災害時に水を確保できる環境を整えることで、住民の安心につながる狙いがある。

50〜60センチ掘った場所から水が自噴していた。釣り堀がなくなった後も自噴は続き、相当量が水路に流れていたことから、災害時に役立てようと水くみ場を整備することを決めた。

区役員らが土地の所有者の承諾を得て、塩化ビニール管を設置し、三つの開閉バルブを取り付け、ホースをつけてポリタンクなどで水をくめるようにした。平時はゲートを設置しているが、災害発生時にはトイレや洗濯、掃除などの生活用水として区民が使えるようゲートを開放し、自由に水をくめるようになる。

区には約1100世帯、約1800人が生活しているという。近年地震などの災害が増えていることを踏まえ、内田区長は「災害時は生活用水の確保が重要。備えをしっかりと話し、区民の安心を守りたい」と話している。(土屋真佑子)

広場に整備された災害時の生活用水の水くみ場  
—笛吹市石和町川中島

## 笛吹・川中島区 地下水活用 水くみ場

(2024年6月20日付 山梨日日新聞16面)

問1 笛吹市石和町川中島区の水の水くみ場は、どのような場所に整備し、なにに利用する水用ですか。

・どのような場所：.....

・なにに利用する水用：.....

問2 区には、なん世帯、なん人が生活していますか。

約.....世帯 約.....人

問3 その場所に決めた理由を教えてください。

.....